

ニュースレター目次

- ビジネス研修（顧客分析、生産計画作成）の実施（シェムリアップ州）
- パイロット活動の候補サイト訪問（トボークモム州、コンポントム州）
- 第3回合同調整委員会(JCC)の開催

活動のアップデート

- 2019.10
《コンポンチュナン州》
 - ・第10回 WEE-WG 開催
 - ・第10回、第11回技術研修実施《シェムリアップ州》
 - ・第5回 WEE-WG 開催《トボークモム州・コンポントム州》
 - ・パイロット活動準備（サイト訪問）
- 2019.11
《コンポンチュナン州》
 - ・第1回ジェンダー統計ワークショップ開催
 - ・ケーススタディセッション準備《シェムリアップ州》
 - ・ビジネス研修実施（顧客分析、生産計画作成）《コンポントム州》
 - ・ジェンダー統計コンサルテーションミーティング実施
- 2019.12
《第3回合同調整委員会開催》
《コンポンチュナン州》
 - ・ケーススタディの実施《シェムリアップ州》
 - ・第6回 WEE-WG 開催
 - ・ビジネス研修実施（環境分析）《トボークモム州・コンポントム州》
 - ・第1回 WEE-WG 開催
 - ・パイロット活動準備（第2回サイト訪問）

ビジネス研修（顧客分析、生産計画作成）の実施（シェムリアップ州）

シェムリアップ州では11月から12月にかけてカナーポー村で顧客分析や生産計画作成に関する研修を実施しました。研修参加者は以下の通りです。

対象の CBT	内容	参加者数
カナーポー村	・顧客分析	・女性 12 人、男性 7 人
	・生産計画	・女性 5 人、男性 8 人
	・ビジネス環境分析(第 1 回)	・女性 6 人、男性 7 人
	・ビジネス環境分析(第 2 回)	・女性 11 人、男性 11 人

顧客分析の研修では、参加者はサブグループ（ホームステイ、牛車体験、野菜栽培、家畜飼育、箒作成）に分かれ、それぞれの商品・サービスの顧客を分析しました。まず、顧客の国籍やタイプ（旅行者、仲買人、卸、個人客など）、性別、年齢層で区分しました。次にそれぞれの顧客がなぜ自分の商品を購入するのか、その理由について分析した結果、ホームステイでは「伝統的な生活を知りたいから」、箒では「頑丈で長持ちするから」などの顧客ニーズが確認されました。



グループワークの様子



ホームステイグループの顧客分析結果

続く生産計画のセッションでは、前回のセッションで確認した顧客ニーズに基づき、商品/サービスを改善した場合、収益が変化するか（顧客、販売数、販売単価、生産・マーケティングコストの変化）生産計画作成を通してシミュレーションしました。12月に開催されたビジネス環境分析のセッションは、コミュニティが主体となり観光振興を進める上で重要となる、ビジネス環境（自然保全、環境保護、ホスピタリティ、伝統文化、ハラスメント対策）にかかる活動の実践状況を分析し、今後に向けた活動案を作成しました。女性の参加者からは「生産計画を作成するためには、これまで学んだ収益分析や顧客分析が必要だということも理解できました。私たちの商品やサービスを利用してくれる顧客のニーズに、私たちはどのように応えていくことができるのか、明確なイメージを持つことができました。」との声が聞かれ、収益向上に必要となる、ビジネス分析のツールについて実践を通して学んでいます。

パイロット活動の候補サイト訪問 (トボークモム州、コンポントム州)

トボークモム州とコンポントム州でのパイロット活動を進めるにあたって、農村部の女性グループがどのようなビジネス（特に農業・農産加工・手工芸品の製造販売）をしているか州職員に確認したところ、実情を把握していないことが判明しました。このため、女性局を中心に農業局や農村開発局、工業手工芸局の情報を基に、女性グループのリストを作成することにしました。その結果をもとに、女性省カウンターパート、女性局、連携局、日本人専門家が各州5つの女性グループを訪問し、女性が行っているビジネスやジェンダーに関するインタビューを行い、パイロット活動の候補となるサイトについて現状把握を進めました。



トボークモム州 野菜生産グループ



コンポントム州 ラタン製品の生産販売グループ

コンポントム州では、ラタン製品の2つの生産グループがあり、販売場所が観光地の入口付近にあるものの商品のデザイン性や品質が今一つの団体と、販売場所の立地はよくありませんが、商品のバリエーションが豊富な団体がありました。この様に、同じ製品を販売していても、課題は様々です。行政サイドがジェンダー視点を持ち、今後どのように女性のビジネスを支援できるか WEE-WG 会合にてしっかり検討していきます。

第3回合同調整委員会（JCC）の開催

12月5日に第3回 JCC が開催されました。女性省の H.E. Ing Kantha Phavi 大臣をはじめ、JICA 社会基盤・平和構築部ジェンダー平等・貧困削減推進室から亀井温子室長、宇佐美茉莉職員、JICA カンボジア事務所から菅野祐一所長、井手直子企画調査員が出席されました。女性省や連携省、連携局から合わせて関係者約70名が参加し、プロジェクト活動の進捗を確認しました。また、PDM の見直しを行ってプロジェクトの方向性を明確にし、活動の成果がより政策提言へ結びつくよう各活動を整理しました。PDM は JCC で合意されたので、今後は改訂版 PDM に沿って活動を進めます。



第3回 JCC の開催

カウンターパートの紹介②： チョイキムソール・アドバイザー

◆Advisor Chhoy Kimsor

女性省アドバイザー

元計画統計局長。

過去には JICA プロジェクトの

プロジェクトマネージャーを

務めた。定年退職を迎えた後、

女性省全体のアドバイザーとして就任。

豊富な経験から、マネジメント層として

PGM-WEE チームを支え、数多くの示唆をプロジェクトにもたらす。

メッセージ

プロジェクトを通じて、女性省職員、そして州女性局の職員が成長できることを一番に期待しています。私自身も JICA の長年の協力を通じて、沢山のことを学びました。特に JICA が開発した「PGM 手法」のマスタートレーナーとして、州女性局の能力強化に携わってきた経験は、PGM-WEE にもつながっています。ジェンダーの理解を深め、幅広い議論に応えられる職員を育成することで、女性省・局の責務であるアドボカシー（政策提言）能力の向上をもたらせたいと思っています。

アドバイザーの好きなことを聞かせてください！

孫2人の面倒を見ているのでとても忙しく、なかなか遠出ができないのですが、家族・親戚との旅行が大好きです。シェムリアップ州、南西部のカンポット州など、旅先でゆったりとした時間を過ごすのがお気に入りです。

